

牛肉、耐震強度、会社決算と、さまざまな分野で「偽装」事件が発生しています。社会の安心の構造が揺らいできているようです。生産、供給する側と消費する側の距離がいつの間にか遠くなってきている背景がそこにはあるように感じます。「生産」「消費」のそれぞれの営みの中で、少しずつでも足元の地域の風土、伝統を見つめ直すことができれば、安心な社会への再構築につながるのではないのでしょうか。(S.K)

今回お会いした方々に共通するのは、自分の地域と自らつくったモノを愛する心でした。私たちの生活は、外からの情報があふれ、いつの間にか東京や欧米のスタイルを真似ていたのではないのでしょうか。地元だからこそ知っている暮らしの工夫の中から、自分たちの生活にフィットするモノができるはず。生活者はそのモノを使って、もっとこうしてほしいと声を発していくこと。それが私たちの役目です。(M.S)

●「マルシェ:marché」とはフランス語で市場のこと、同音の「マルシェ:marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド:nord=北)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」(年二回、九・三月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

### ●理解を深めるために……

## Books

#### ※地域事例1 アポネット

『THE REPORT ON ABNET 2000~2003 →』  
札幌市経済局

『Design News』263・264・269号  
札幌からのものづくりの可能性「アポネット」のデザイン開発 森田敏昭著

#### ※地域事例3 ピックファーム大山、榛澤牧場

『道東における新しい食の魅力を考える』  
資源循環型食肉生産シンポジウム実行委員会

『地域フードシステムの構築を目指した食の社会実験』報告書  
釧路公立大学地域経済研究センター、釧路建設業協会地域貢献推進委員会

#### ※地域事例4 バイオガス、土谷特殊農機具製作

『東北海道バイオマスフォーラム釧路』  
NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず

#### ※そのほか

『国土交通』北からの発信 産消協働が地域を変える(2005年10月号)

『読売新聞』北海道産の誇り手に(2005年5月26日)

『ISM』域内循環へ産消協働のすすめ(2005年3月号)

『週刊水産新聞』北海道を元気にする産消協働(2005年6月6日)

『エポカ22』(2004年3月号)「産消協働」による地域活力の創造

#### ●マルシェノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方を考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)
- 第15号 「地域と医療」(05年8月25日発行)

## ● 開発こうほう / 地域経済レポート特集号 | Regional Economic Report

# マルシェノルド

●ご意見・ご感想をお寄せ下さい。  
(財)北海道開発協会 企画広報部

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目 セントラル札幌北ビル  
TEL: 011 (709) 5212 E-mail: pr@hkk.or.jp

発行所 第512号 平成18年2月24日  
発行 (財)北海道開発協会  
編集協力 釧路公立大学地域経済研究センター  
印刷所 (株)須田製版 不許複製  
<http://www.hkk.or.jp/>